

人口4900の
西和賀町で
自主的に暗躍する
ナゾの集団を追え！

ほっとゆだエリア再生協議会
唐仁原 俊博

Question

ほっとゆだエリア
再生協議会
通称 駅前だびょん
ってなんだ!?

Answer

自分たちで考え
自分たちの行動で
自分たちの町を
よりよく変える
チーム



1.

駅前だびょん誕生まで

「自分たちでやってみよう」


それは
おととしの
11月…

小規模多機能自治を語る夜

紫波町で開催されたトークイベント
「小規模多機能自治を語る夜」
にたまたま参加

帰りの車のなかで

「中間支援かー」
「俺たちもやれないかなー」
「やろうぜ、やろうぜ！」
とテンション爆アゲ！



小規模
多機能自治
って？

それぞれの地域に様々な組織がある。自治会や町内会などの地縁型組織、消防団や営農組織などの目的型組織、PTAや女性グループなどの属性型組織。これらを概ね小学校単位（公民館区）で再編し、市民力を結集した広域的で多機能な地縁組織が、雲南市の「地域自主組織」だ。年代や性別、活動が異なる様々な組織が地縁でつながり、連携を深め、それぞれの長所を生かし、補完し合うことで、**地域課題を自ら解決し、自地域の振興発展を図る。**こうした「住みよい地域づくり」を実践する、小規模ながらも様々な機能を持った地域住民による自治の仕組みを「小規模多機能自治」と呼んでいる。

中間支援
って？

協働を推進する上で、
市民と市民、市民と行政、
行政と企業、企業と市民などの
間に立って、
中立的な立場で、活動を支援すること

つまり…

小規模多機能自治


= 「住みよい地域づくり」を実践する

ために

中間支援

= いろいろな立場の人が力を合わせられるよう
間に立って動く人が必要

考えてみれば西和賀町に
そういう組織なくない？



西和賀町の
課題って
なんだろう

人口減少？

少子高齢化？ 本当に？

本当の問題は人口が減ることじゃなくて
課題を解決できなくなることじゃない？

自分（たち）で課題を見つけて
自分（たち）が解決のために動いて
自分（たち）がより幸福に暮らす
ことができればいいんじゃない？

必要なことを
自分たちで
勝手に
はじめよう

自分たちの住む町を よりよくするために

- ①ほっとゆだ駅周辺のエリア再生
- ②ローカルプレイヤーの発掘・育成
- ③行政と住民の中間支援

を目的に、勝手に集まって
勝手に立ち上がったのが
《駅前だびょん》



2.

駅前だびよんのメンバー

ちょっとクセのある人たち



菊池 伸也

雪山でワインを語る企画系いちご農家

1980年、北上市生まれ。2002年、京都コンピュータ学院芸術情報学科卒業。
雪山に魅せられ北アルプスの山岳リゾートにて5年間レストランサービスに従事。

退職後、スキー場のプロデュース業を経て、2015年、西和賀町で就農。

いちごの生産から飲食業までを手掛けている。

ソムリエ協会ワインエキスパート、野菜ソムリエ、めだま企画代表。



瀬川 然

感受性・身体性のエバンジェリスト

1991年、西和賀町生まれ。

地元の西和賀高校を卒業後、(株)西和賀産業公社に約10年勤め退社。

その後西和賀魅力発信団体ネビラキを起業。

感受性・身体性を取り戻せる故郷づくりをビジョンに掲げ、
ネイチャーツアーガイドと湖畔のカフェを営業しながら
西和賀での暮らしの豊かさを模索している。



とうじん

南からやってきたヤギ飼い

1985年、鹿児島市生まれ。

2003年、京都大学文学部入学、10年通ったのち中退。

在学中から現在に至るまで、フリーライターとして、

雑誌やウェブの記事執筆・編集を行っている。

2019年4月から3年間、西和賀町で地域おこし協力隊として活動。

ヤギおじさんであり、2023年5月より西和賀町議会議員。



森 陽平

演劇とアートの伝道師

1986年生、東京都出身。日本大学大学院芸術学研究科舞台芸術専攻博士前期課程修了。

2012年、西和賀町にて演劇等の合宿事業

「ギンガク（銀河ホール学生演劇合宿事業）」を立ち上げる。

2014年、西和賀町に移住。2017-19年、西和賀町文化創造館アートコーディネーター。

2019年より岩手県文化芸術コーディネーター、岩手県立千厩高等学校演劇部の部活動指導員。

2020年より八王子ユースシアター外部ディレクター。



2.

これまでやったこと

資金はないけど

まちサポ
しずくいし
視察

雫石町の中間支援組織を訪問。
拠点を見せてもらい、話を聞いた。



町民のやる気を
刺激して
何かやる人を
増やそう！

全国で起業支援をしている人を講師に招き、 トークイベントとワークショップ

主催：はっとゆだエリア再生協議会《駅前だびょん》

ダイアログ カレッジ

参加費(2日間) **23,500 yen**
4月1日のフィールドワーク・トークライブは
引き継ぎ参加お申し込みを要行っています！
2023 **4**
1 (Sat) - 2 (Sun)

足元の宝を世界に発信！
夢の具現化方法を学び、
100人の1歩を踏み出す2日間 in 西和賀

4月1日(土)

- ① フィールドワーク 11:00～17:30 西和賀町内各所
【対象】小学生・中学生・高校生・社会人
【定員】10名 【参加費】1,500円(昼食代別)
- ② トークライブ 18:00～20:30 是とゆだ温泉2階休憩所
「地域の宝を発信し、来しむ人は来しむを汲み取る」
「家族の地域を幸せになれるまちづくり」とは？
【定員】40名 【参加費】2,500円(中学生300円、小学生は300円(各入浴料込))

4月2日(日)

- ③ ワークショップ 9:00～17:00 駅前だびょん
夢を具現化させる寺子屋
【定員】10名 【参加費】2,500円(昼食代別)

●コーディネーター
加藤 紗栄
(ニキノチカラ協議会)

●コーディネーター
瀬川 然
(ネピラキ)

●ナビゲーター
中村 あつよし
(NPOファーストエープライヴ)

※本学は開校10周年を記念してあります。
※各ワークショップ参加は各自でお申し込みください。
※参加費は(お家来やランチ代)の他、お持ち帰り品も含まれています。

お問い合わせはコチラ！
瀬川 然(事務局)
080-6023-8181 / shiro.shikako@gmail.com



3.

直近にやったこと

そろそろ金がないとキツイ！

駅徒歩 1 分



駅前空き家！





灯りが点くだけで違う！

浪内温泉高層
浪内ハイツ
東北民員の宝庫
15,000点
碧祥寺博物館
国指定・重要有形民俗文化財
24点蔵
① マタギ資料
② 冬の生活民具
TEL.0197-85-3330

広告
募集中
TEL.050-7664-8305

西和賀温泉峡案内

空き家が
何になれば
楽しいか
考える

駅前に何があれば楽しく暮らせるか
考える夜。

駅前だびょんが
妄想を発表。
参加する人にも
妄想してもらう、
というイベント。

Reboot

照井旅館再起動!?
ほっとゆだ駅正面の超好立地な空き家をどう使ったらワクワクするか考える夜

日時 2023年10月22日(日曜日) **会場** 照井旅館
(川尻・湯夢プラザ向かい)

早入券
は各自
21時まで
受付です

18:00 開場
18:30 乾杯!! **料金** 500~円
(会場カシバ、上皿なし"o")

やること
乾杯したあとは《駅前だびょん》による『妄想・照井旅館活用計画』発表。
発表をツマミに、飲み食いやおしゃべりや妄想をみんなで楽しむ!!

注意事項
飲食物は各自ご用意ください。主催もちょっとだけ準備します。差し入れ大歓迎!
照井旅館は水が使えません。トイレは駅前の公衆トイレをお使いください。

『駅前だびょん』ってなに?
①ほっとゆだ駅周辺のエリア再生
②ローカルプレイヤーの発掘・育成
③行政と住民の中間支援
を目的に、自然と生まれた任意団体。

飛び入り歓迎ですが
名のQRコードから
予約していただくと
私たちが助かります(〇〇)

主催：ほっとゆだエリア再生協議会「駅前だびょん」/ イベント事務局：とうじん 090-9625-9320





課題は？

人！ 金！ 時間！

「人」

駅前だびょんのメンバーはそれぞれ仕事がある。
イベント（一時的）はともかく
事業（継続的）は中心になって進める人が必要。

「金」

古い建物なのでちゃんと使うにはお金がかかる。

「時間」

お金をかけずに労力をかける手もあるが
時間は有限。

ではまだどこかで会いましょう！